

犬の散歩

毎日の散歩は犬にとっても重要です。散歩で太陽の光を浴びると、体も心も活性化され、病気の予防にもなります。またストレス解消や、肥満防止のメリットもあります。

1回の散歩の目安時間は…？

1日2回行くとして1回の目安時間

- *小型犬 10kg以下 ⇒ 20～40分
- *中型犬 10～20kg ⇒ 40～60分
- *大型犬 20kg以上 ⇒ 60分以上(できれば)

※年齢や体調により調節してください。



注意事項

- ♣リードをつけずに散歩をすると他の人や犬の迷惑、事故やトラブルになることがあるのでリードは必ずつけて散歩をしましょう。
(犬の放し飼いやリードをつけずに散歩することは法律で禁止されています。)
- ♣空腹時に散歩をすると拾い食いをする恐れがあり、中毒などになることもありますので注意して下さい。
- ♣食後すぐの散歩も、吐いたり、特に大型犬で胃拡張、胃捻転の様な恐ろしい病気になる場合もあるので控えましょう。
- ♣犬が吠えて散歩を要求してきてすぐに散歩に連れて行ったり、散歩中に犬の行きたい方向ばかり歩いたりして、思い通りにさせ過ぎるのも良くないでしょう。
→飼い主が主導権を握り、わがままにさせないようにする。 拾い食いの防止にもなります。
- ♣犬は暑さに弱いので真夏の暑い日中の散歩は避けて下さい。 熱中症になると命にかかりますので気をつけましょう。また、日が落ちてからでもアスファルトは熱をもっていることがあるので地面を自分の手のひらで確認して、地面からの反射熱による熱中症を防ぎましょう。



- ♣散歩が長くなる場合は飲み水を持参した方が良いでしょう。
公共の場でおしっこなどをしても、洗い流すことができ便利です。
- ♣小型犬の場合、室内遊びで必要な運動量をカバーできることもありますが、散歩不足でストレスがたまり、問題行動の原因にもなるので散歩は、したほうが良いでしょう。
- ♣子犬の場合はワクチンの効果が出るまで2週間くらいかかるので最終のワクチンが終わってから2週間くらいしてから散歩に連れて行きましょう。
- ♣子犬や散歩が苦手な犬は室内でリードをつけて練習したり、抱っこで歩いたり、徐々に慣れさせていきましょう。 子犬の場合は、散歩が他の人や犬、車などの騒音に慣れさせる、社会化の意味合いにもなります。
- ♣犬の便は家に持ち帰って処分して下さい。 他の犬の排泄物から、病気がうつることがあるので気をつけましょう。
- ♣子供だけでは突然の犬の行動に対処できないので大人が同行するようにしましょう。